



# 2006年度決算説明会

2007年 6月11日

日産車体株式会社

取締役社長 高木 茂

AD



# 将来予測について

本資料のうち、業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいて算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と大きく異なる可能性があります

なお、上記の不確定性および変動可能性を有する要素としては、主に以下のようなものがあります。

主要市場における経済情勢および需要の変動

原価低減や設備投資を計画どおり実施する当社の能力

主要市場における貿易規制等の各種規制

主要市場における政治情勢

適宜、新製品を開発し市場へ投入する当社の能力

当社が事業活動を行ううえで生じる当社の責めに帰すことのできない様々な障害

# アジェンダ

---



1 . 2006年度 財務実績

2 . 2007年度 見通し



# 1 . 2006年度 財務実績



# 2006年度 売上台数



(単位:千台)

	06年度	05年度	増減	増減率
ピックアップ	73.0	59.1	13.9	23.5%
シビリアン	4.3	4.0	0.3	7.2%
AD / ADバン	11.6	30.2	18.6	61.7%
エルグランド	21.0	35.7	14.7	41.1%
インフィニティFX	26.0	33.4	7.4	22.2%
サファリ	18.8	23.9	5.1	21.2%
セレナ	82.3	86.9	4.6	5.3%
ウイングロード	30.2	32.0	1.8	5.4%
エキスパート	2.9	4.3	1.4	32.5%
アベニール	0.0	1.0	1.0	-
セドリック	4.2	4.8	0.6	12.3%
キャラバン	49.9	50.4	0.5	1.2%
クルー	2.4	2.9	0.5	17.9%
合計	326.6	368.6	42.0	11.4%

# 2006年度 連結損益

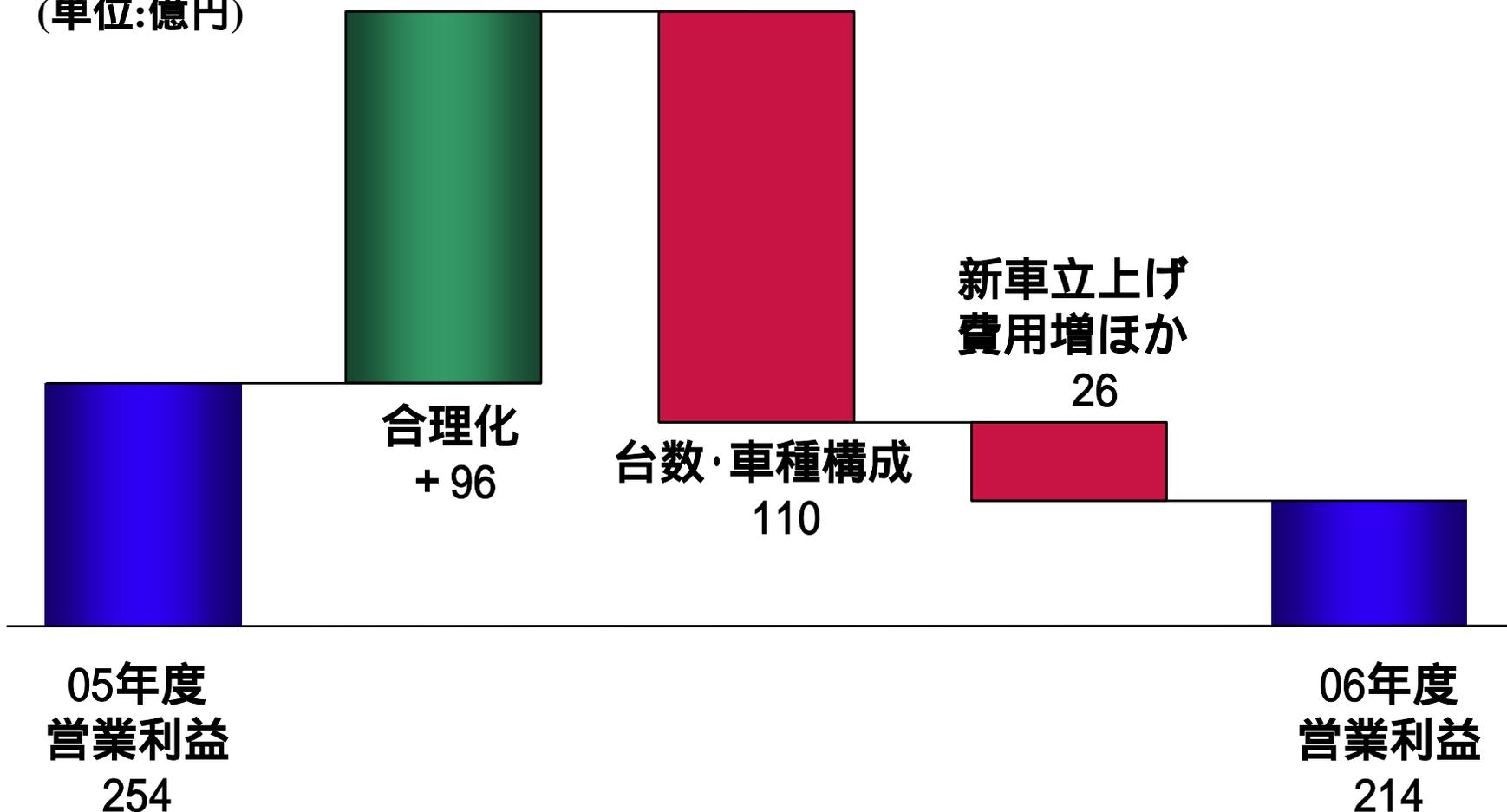


(単位: 億円)	06年度	05年度	増減	増減率
売上高	5,677	6,402	725	11.3%
営業利益	214	254	40	15.7%
売上高営業利益率	3.8%	4.0%	0.2%	-
経常利益	209	248	39	15.8%
当期純利益	121	166	45	26.7%
(売上台数)	326.6千台	368.6千台	42.0千台	11.4%

# 営業利益増減要因分析



(単位:億円)



# 2005年度 対 2006年度 経常利益・当期純利益



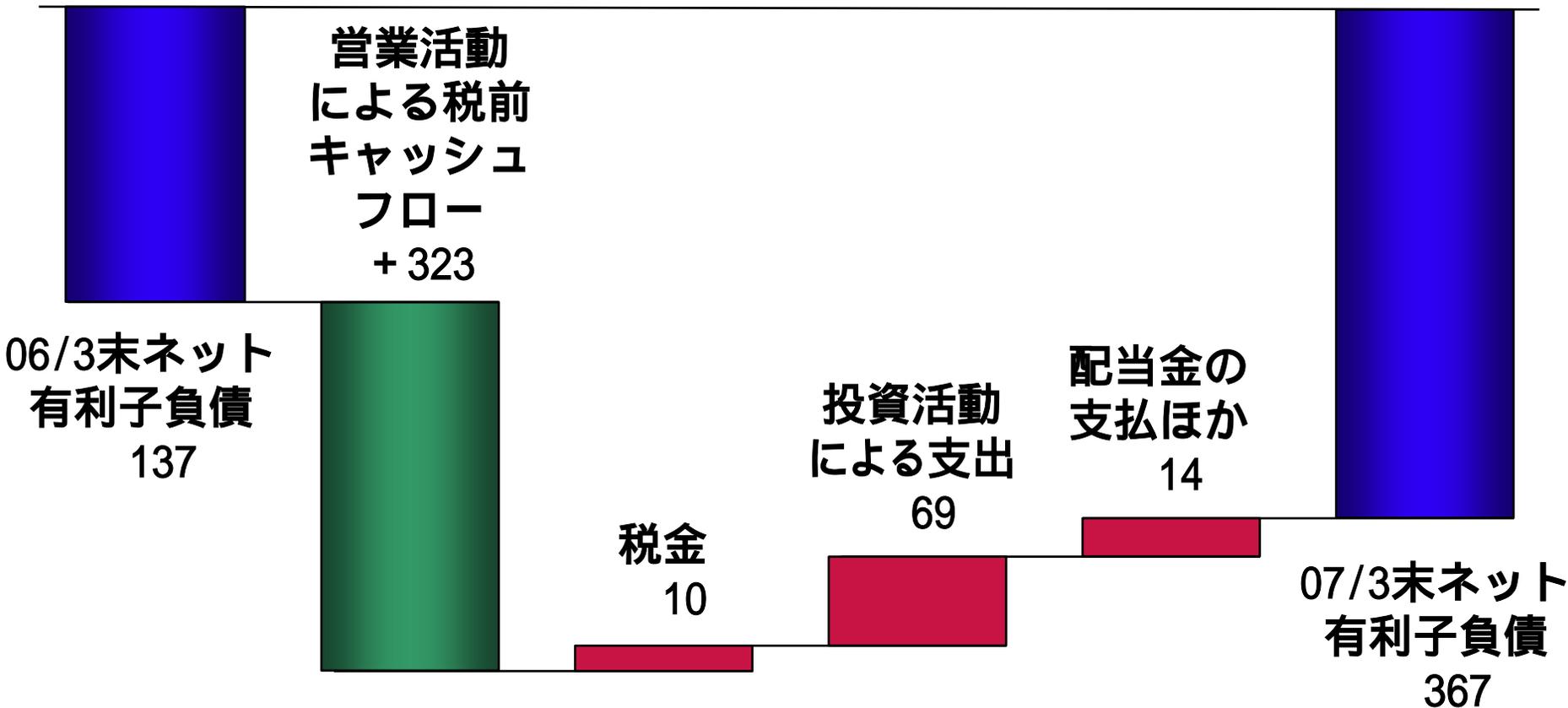
(単位:億円)

摘 要	増減
経常利益の減少(248 209)	39
退職給付制度変更による退職給付引当金取崩益の減	33
税引前当期純利益の減少(279 207)	72
法人税等の減ほか	27
当期純利益の減少(166 121)	45

# ネット連結有利子負債



(単位:億円)





## 2 . 2007年度 見通し



# 2007年度 連結損益見通し

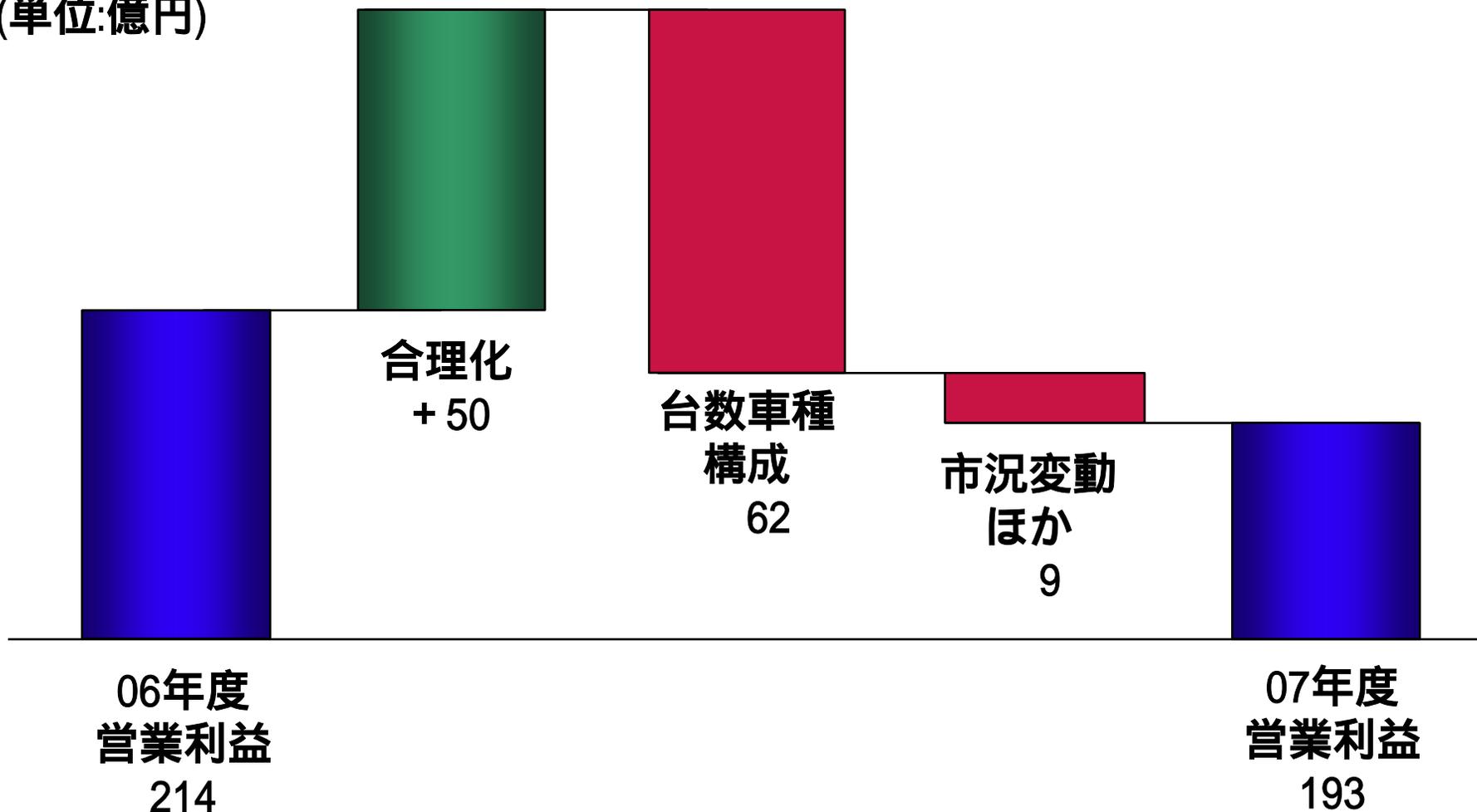


(単位: 億円)	07年度(予想)	06年度	増減	増減率
売上高	5,360	5,677	317	6%
営業利益	193	214	21	10%
売上高営業利益率	3.6%	3.8%	0.2%	-
経常利益	184	209	25	12%
当期純利益	99	121	22	19%
(売上台数)	311.0千台	326.6千台	15.6	5%

# 営業利益増減要因分析



(単位:億円)



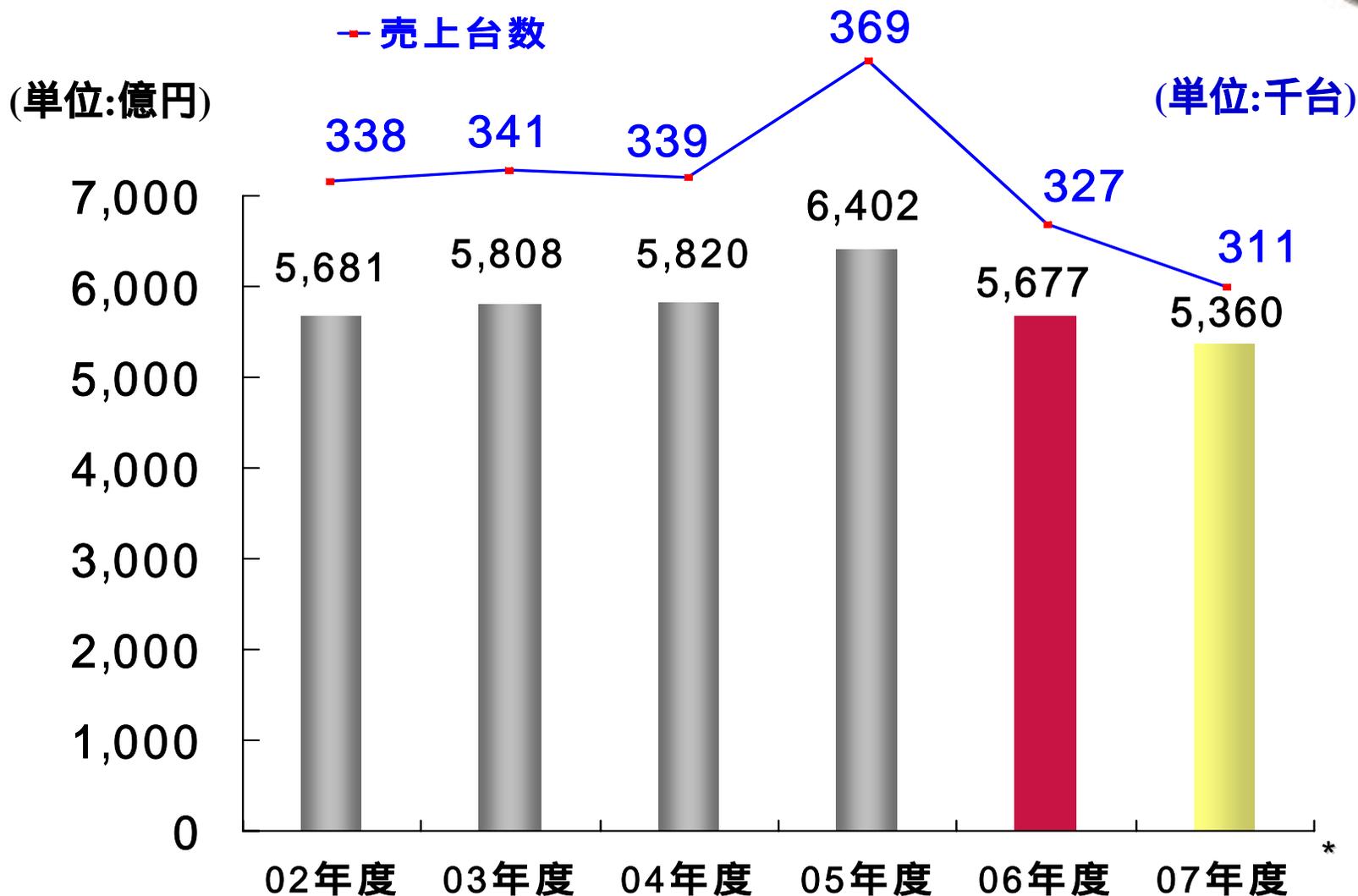
# 2006年度 対 2007年度 経常利益・当期純利益



(単位:億円)

摘 要		増減
経常利益の減少 (209 184)		25
	投資有価証券売却益の減	4
	固定資産除却損の増ほか	7
税引前当期純利益の減少 (207 171)		36
	法人税等の減ほか	14
当期純利益の減少 (121 99)		22

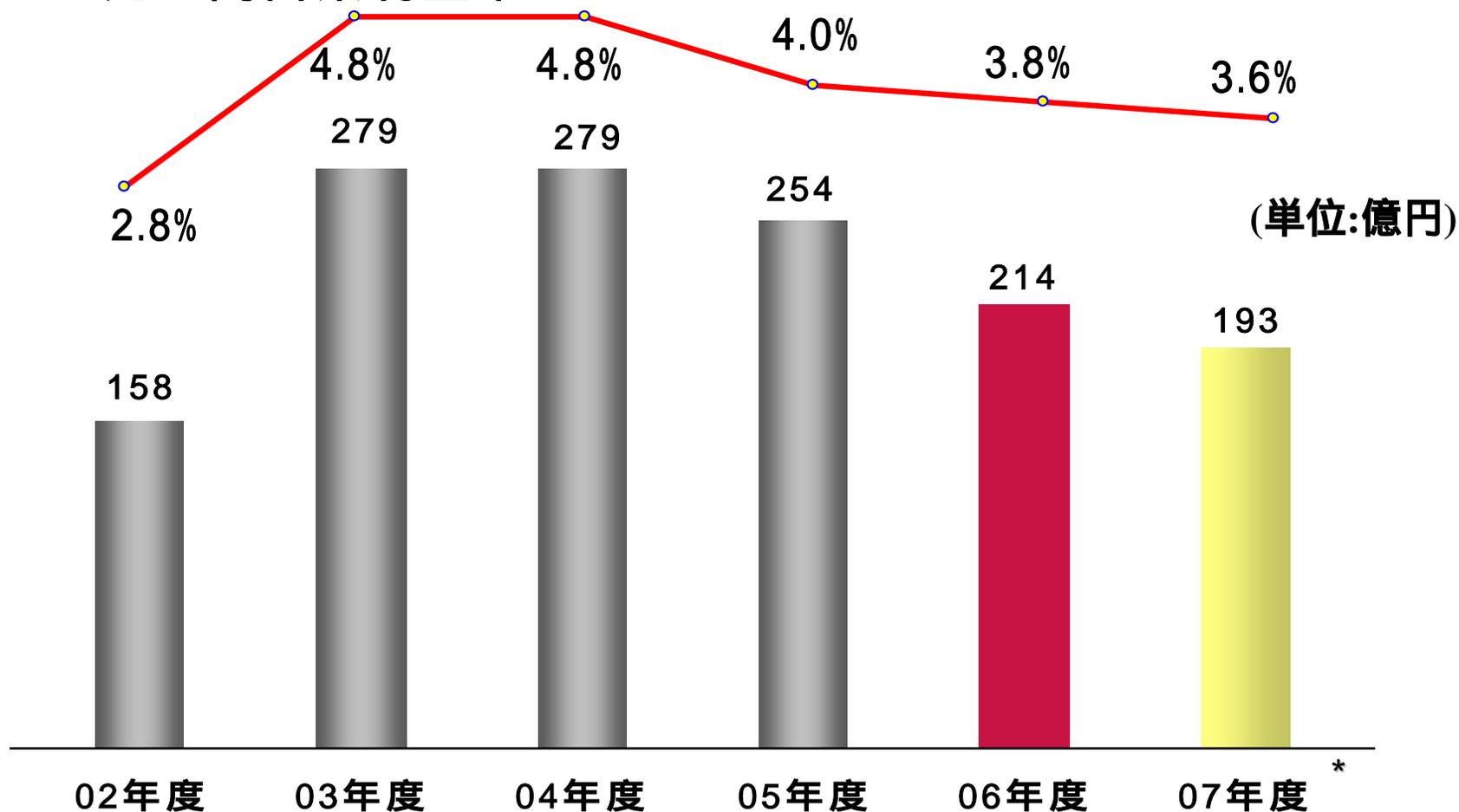
# 売上台数及び連結売上高推移



# 連結営業利益推移



売上高営業利益率

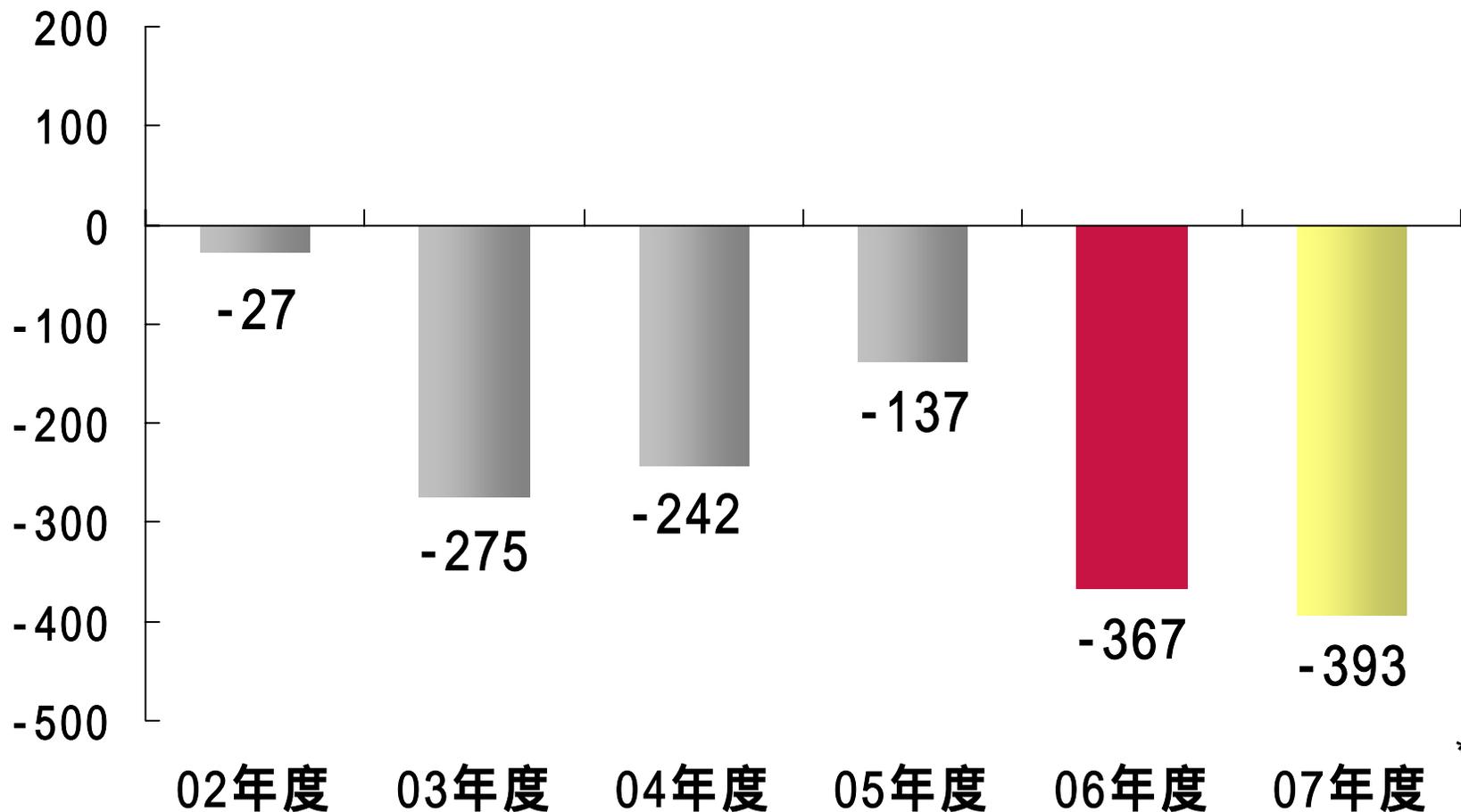


(単位:億円)

# ネット連結有利子負債推移



(単位:億円)



# 自己資本比率推移



< 自己資本比率 > 自己資本 ÷ 総資産

